秋田県北部エコタウン計画
事業化に向けスタート！

秋田県と県北部地域十八市町村で計画していました「秋田県北部エコタウン計画」が国からの承認を得ました。この計画は、一般家庭や企業などから出るすべての廃棄物を新たにほかの産業の原料として活用し、廃棄物をゼロにしようというゼロエミッション構想を推進するものです。このため「廃棄物の発生抑制・減量化と再資源化」「鉱業関連基盤を活用した新しい産業の創出」「地域産業の連携による資源循環型産業の創出」「新エネルギー産業の導入」が、大館市、小坂町を中核とした県北部十八市町村を対象に進められます。

この地域には、長年培われてきた高度な鉱業技術や設備があり、天然ゼオライトなどの天然資源が大量に存在しています。また、林業及び木材産業からは廃木材、石炭火力発電所からは石炭灰、そして農業からは農業用廃プラスチックなどの産業資源も多量に排出されます。さらには、金属鉱業研修技術センターや木材高度加工研究所などの研究開発機関があるほか、秋田大学工学資源学部の協力も得ることができます。

これらの研究開発機関との連携による天然資源や産業資源を組み合わせた新素材の開発、鉱業関連技術とその産業基盤を活かすリサイクル事業など、限られた資源を有効に活用する事業を推進し、産・学・官が一体となり、地球環境にやさしい新しい資源循環型社会を目指します。

白神山地や十和田八幡平国立公園などの豊かな自然と共生し、二十一世紀における地域の基幹産業に結びつける「秋田県北部エコタウン計画」。いよいよ事業化に向けスタートしました。

エコ(Eco)はエコロジー(Ecology):生態系のことで、あらゆる生命のつながりを意味しています。